

第 16 表 児童福祉法による児童福祉施設

本表は昭和33年3月末日現在で「厚生省報告例」にもとづいて作成されたものである。

| 施設 | 施設数 | 職 員 数 | | | | 収容または 利用人員 |
|----------|-----|-------|------|-------|-----|---------------|
| | | 計 | 事務職員 | 技術職員 | その他 | |
| 総 数 | 380 | 2 774 | 304 | 2 050 | 420 | 518世帯 22 592 |
| 助産施設 | 9 | 91 | 12 | 67 | 12 | ... |
| 乳児院 | 6 | 132 | 13 | 108 | 11 | 196 |
| 母子寮 | 25 | 119 | 13 | 85 | 21 | 518世帯 |
| 保育所 | 283 | 1 628 | 173 | 1 198 | 257 | 18 632 |
| 児童厚生施設 | 9 | 26 | 26 | - | - | ... |
| 養護施設 | 41 | 600 | 49 | 458 | 93 | 3 194 |
| 精神薄弱児施設 | 5 | 72 | 5 | 59 | 8 | 279 |
| し体不自由児施設 | 1 | 60 | 7 | 42 | 11 | 95 |
| 教護院 | 1 | 46 | 6 | 33 | 7 | 196 |

(注) 資料 大阪府民生部児童課及び大阪市民生局児童課。

第 17 表 児童福祉施設収容実人員数

本表は「厚生省報告例」にもとづいて作成された、各年度における1カ月平均の数字である。但し、昭和31年度は昭和32年3月末日現在のものである。

| 年 次 | 乳 児 院 | 養 護 施 設 | 精神薄弱児施設 | し体不自由児施設 | 教 護 院 |
|----------|-------|---------|---------|----------|-------|
| 昭和28年度平均 | 163 | 3 066 | 263 | 48 | 269 |
| 29 | 167 | 3 062 | 281 | 47 | 190 |
| 30 | 180 | 3 254 | 295 | 83 | 207 |
| 31 | 136 | 2 206 | 127 | 32 | 87 |
| 昭和32年度平均 | 197 | 3 228 | 267 | 82 | 220 |

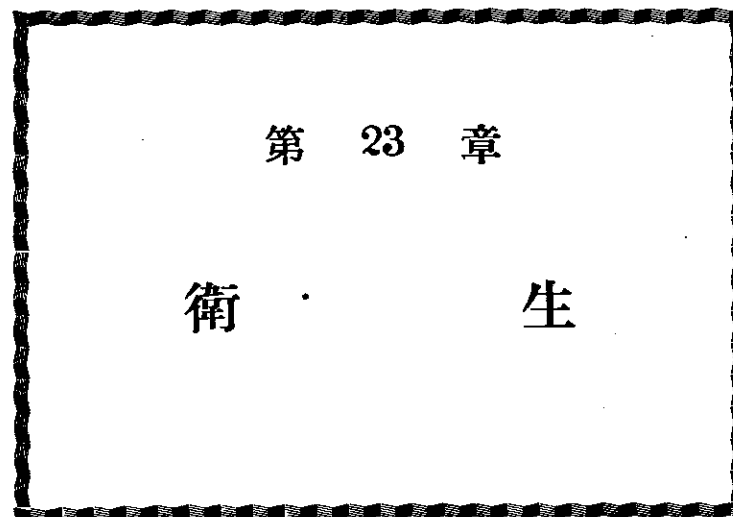
(注) 資料 大阪府民生部児童課及び大阪市民生局児童課。

第 18 表 結 婚 斡 旋 状 況

本表は「厚生省報告例」にもとづいて作成されたものである。

| 年 次 | 相 談 件 数 | | | 申 込 件 数 | | | 照会組数 (見合) | 成立組数 |
|--------|---------|-------|--------|---------|-----|-------|--------------|------|
| | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | | |
| 昭和28年度 | 13 707 | 6 352 | 7 355 | 1 855 | 834 | 1 021 | 1 510 | 318 |
| 29 | 16 067 | 7 265 | 8 802 | 2 280 | 929 | 1 351 | 1 326 | 187 |
| 30 | 16 119 | 7 073 | 9 046 | 2 298 | 851 | 1 447 | 1 464 | 170 |
| 31 | 16 828 | 7 151 | 9 677 | 1 965 | 842 | 1 123 | 1 386 | 117 |
| 昭和32年度 | 18 221 | 7 667 | 10 554 | 2 649 | 999 | 1 650 | 1 671 | 142 |

(注) 資料 大阪府立夕陽丘結婚相談所。



第 23 章

衛 生

第 23 章 衛 生

(1) 医 療 施 設

A. 病 院 数

医療法施行規則に基づき提出された報告によると医療法制定の昭和23年以後病院数は年々増加傾向にあって、昭和32年末における病院数は311で、その内訳を経営主体別にみると医療法人をふくむ法人立が118 (37.9%)、個人は115 (36.9%)、官公立63 (20.2%)、会社所属15 (4.8%) の割合となっている。また病院の種類別でみると、その他の病院は267で総数311の (85.8%) を占め第一位にあり、次で結核病院の23 (7.3%)、伝染病院 7 (2.2%)、精神病院14 (4.5%) の順となる。次ぎに経営主体別の増減状況を昭和26年末現在と比較すると、官公立では21施設 (30.0%)、法人立では65施設 (18.1%) の増加となっており、一般診療所、歯科診療所はそれぞれ716施設 (54.3%)、324施設 (55.7%) の増加となっている。

B. 病 床 数

昭和32年末における病院の総病床数は38 135床であるが、この病床数を種類別でみると精神病床3 703床 (9.7%)、結核病院 (療養所) 7 526床 (19.7%)、伝染病663床 (1.7%)、その他の病院 (一般病院)、26 243床 (68.8%) の割合となっている。また病床数の増減状況を昭和26年と比較すると、総病床数では17 207床 (82.2%)、精神病1 857床 (10.5%)、結核病床は2 575床 (52.0%)、その他の病床13 166床 (100.7%) の増加となっているが、伝染病床は365 (35.5%) の減少となり、伝染病床を除いた各病床は年々著しい増加の傾向を示している。また 31 年末における病床数を経営主体別にみると官公立15 672床 (41.0%)、法人立15 907床 (41.7%)、個人立5 373床 (14.1%)、会社所属 1 183 床 (3.1%) となり、さらに病床の種類別でみると、その他の病床が 26 243 床で総数 38 135 の (68.8%) を占め第 1 位にあり、次いで結核病床 7 526 (9.17%)、精神病床 3 703 (9.7%)、伝染病 663 床 (1.7%) の順となる。

(2) 死 亡 の 概 況

人々の記憶に生々しい戦争当時は死亡率も異常な上昇を見せ昭和20年には1 000人ついて29.3人という高であったが、戦後における民生の安定と公衆衛生思想の発達と共に急激な低下を示し、22年には14.5人、26年には9.2人と下降し、さらに32年は8.7人という世界最低水準に達するほどになった。死亡者数を年齢階級別に見るとやはり60歳以上が18 135人 (51.5%) で最も多く、次いで0~4歳3 512人 (9.8%)、55~59歳3 036人 (8.5%)、50~54歳2 199人 (6.2%)、45~49歳1 734人 (4.9%)、40~44歳1 242人 (3.5%)、20~24歳1 163人 (3.3%)、25~29歳1 152人 (3.2%)、30~34歳1 084人 (3.0%)、35~39歳936人 (2.6%)、15~19歳547人 (1.5%)、10~14歳275人 (0.8%) となっている。また死因別を多いものより列挙すると、中枢神経系の血管損傷5 100人 (14.3%)、悪性新生物4 744人 (13.3%)、精神病の記載のない老衰並びに診断名不相当及び不明の原因4 409人 (12.4%)、その他のすべての疾患2 732人 (7.7%)、呼吸系の結核2 715人 (7.6%)、動脈硬化性及び変性性心臓疾患2 090人 (5.9%)、肺炎

(新生児肺炎を除く) 1 907人 (5.4%)、自殺及び自傷1 332人 (3.7%)、その他の不慮の事故1 187人 (3.3%)、腎炎及びネフローゼ949人 (2.7%) 等があり、最近では国民病といわれた結核、あるいは新生児の死亡が減少したが、一方では、いはゆる中風、ガンによる死亡が増加している。なお以上を前年と比較してみると、総数において6.7%の増加であるがこれは人口の増加に伴うもので例年通り平行状態を保つていとみてよい。しかしながら、交通量増加のため、自動車事故が前年に比し20.0%も増加したのは注目すべきことである。

(3) 伝 染 病

昭和32年の法定伝染病患者発生数は3 265名で、前年の4 116名に比し851名 (20.7%) の減少となっている。また死者について見ると昭和32年は154名で前年の273名に比し119名 (43.6%) と顕著な減少を示した。患者数の減少の大きな原因は赤痢 (疫痢を含む) の激減によるものであり、死亡者数の減少の原因は全伝染病中最も致命率の高い日本脳炎と疫痢の発生数ともに少なかったためである。

以下各疫痢病別の発生状況を見ると赤痢は患者数1 570名、死者84名で31の患者2 253名、死者157名に対しそれぞれ30.4%46.5%と著しい減少を示している。しかしながらこの数は全法定伝染病の40%近くを占めており、なお今後の諸対策が強く要望されている。つぎにジフテリアの発生数は787名死者33名で、前年の患者数974名死者43名と比べるとこれも著しい減少を示している。本病は昭和28年ごろから全国的に増加の傾向を示し憂慮されていたのが、その後ジフテリア免疫調査の成績を基盤としてジフテリア予防接種強化を図つたため、昭和31年を最高として漸く減少の傾向を示し始めたとも考えられる。日本脳炎の発生数は68名で前年より減少しているが、最近の発生状況を見るとほとんど隔年に流行しているため、本年は患者発生数が少ないからといって決して油断はならない。特にパンス等の新しい抗生物質の使用にかかわらず依然として30%以上の高い致命率を示している点に問題があると思われ、今後これの予防接種普及強化を図るなど万全の対策が望まれる。

その他伝染病中腸チフス、パラチフスは若干の増加を示したので今後の予防対策の強化徹底が望まれる。また発しんチフス、痘そう、コレラ等検疫伝染病については本年も発生皆無であったが、これは国内防疫態勢が著しく強化されたことによるものである。

(4) 届出伝染病の発生概要

届出伝染病はインフルエンザ、ましんの激増により患者数103 089名死亡数3 629名となり、31年の患者数49 486名死亡者265名よりそれぞれ1 083%、369%の増加を見た。インフルエンザは前年の発生513名に対する43 096名で、死亡者は前年の3名に対する372名という脅威的な激増である。これは32年5月から前後2回 (5月から8月と9月から12月) にわたって大流行したインフルエンザの病原体がAアジア57という従来の病原体と異なる新種であったため予防ワクチンの大量生産が不可能であったことがまんえんの大きな原因となった。ましんは患者3 224名で31年の577名より著しい増加であるが、一昨30年も3 708名と非常に多く、32年は届出伝染病の当り年となった感があった。

第1表 理容及び美容

本表は「厚生省報告例」に基づいて作成されたもので各年末現在の数字である。

| 年次 | 理容 | | 美容 | |
|-------|-------|--------|-------|--------|
| | 理容所 | 理容師数 | 美容所 | 美容師数 |
| 昭和29年 | 4 288 | 12 249 | 2 963 | 7 674 |
| 30 | 4 541 | 11 780 | 3 252 | 10 412 |
| 31 | 4 704 | 8 995 | 3 523 | 6 370 |
| 昭和32年 | 4 838 | 10 104 | 3 651 | 7 017 |

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第2表 公衆浴場

本表は「厚生省報告例」に基づいて作成されたもので各年末現在の数字である。

| 年次 | 総数 | 公営浴場 | | 私営浴場 |
|-------|-------|------|-------|------|
| | | 公営 | 浴場 | |
| 昭和29年 | 1 526 | 32 | 1 494 | |
| 30 | 1 642 | 32 | 1 610 | |
| 31 | 1 748 | 32 | 1 716 | |
| 昭和32年 | 1 836 | 40 | 1 796 | |

(注) 資料 大阪府衛生部環境衛生課 大阪市衛生局環境衛生課。

第3表 ホテル、旅館、下宿

本表は「厚生省報告例」に基づいて作成されたもので各年末現在の数字である。

| 年次 | 総数 | 下宿 | | |
|-------|-------|-----|-------|-----|
| | | ホテル | 旅館 | 下宿 |
| 昭和29年 | 3 045 | 4 | 2 777 | 264 |
| 30 | 3 078 | 4 | 2 773 | 301 |
| 31 | 2 901 | 3 | 2 571 | 327 |
| 昭和32年 | 2 967 | 3 | 2 600 | 364 |

(注) 資料 大阪府衛生部環境衛生課 大阪市衛生局環境衛生課。

第4表 牛乳搾取及び処理

本表は「厚生省報告例」に基づいて作成されたもので各年末現在の数字である。但し、搾取量及び処理量は各年間のものである。

| 年次 | 牛乳搾取 | | 牛乳処理 | | |
|-------|-------|-------|-----------|------|-----------|
| | 搾取場数 | 乳牛頭数 | 年間搾取量 | 処理場数 | 年間処理量 |
| 昭和29年 | 1 809 | 6 462 | 1 669 712 | 57 | 2 463 223 |
| 30 | - | 7 680 | 1 667 398 | 62 | 2 588 398 |
| 31 | 1 653 | 8 847 | 1 884 523 | 62 | 3 193 351 |
| 昭和32年 | 2 221 | 8 688 | 1 950 600 | 59 | 2 348 110 |

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第5表 医師及び歯科医師

本表は医師法及び歯科医師法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

| 年次 | 医師 | | | | 歯科医師 | | | |
|-------|-------|----------|--------------------|-----|-------|------------|--------------------|-----|
| | 総数 | 医療施設の従事者 | 衛生行政または保健衛生の業務の従事者 | その他 | 総数 | 歯科医療施設の従事者 | 衛生行政または保健衛生の業務の従事者 | その他 |
| 昭和29年 | 6 448 | 5 994 | 348 | 106 | 1 986 | 1 881 | 58 | 47 |
| 30 | 6 737 | 6 294 | 119 | 324 | 2 069 | 1 984 | 11 | 74 |
| 31 | 6 061 | - | - | - | 1 965 | - | - | - |
| 昭和32年 | 6 478 | - | - | - | 2 172 | - | - | - |

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第6表 薬剤師

本表は薬剤師法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

| 年次 | 総数 | 薬剤師の実務に従事する薬剤師数 | | | | 衛生行政に従事する薬剤師数 | 薬学の研究に従事する薬剤師数 | その他 |
|-------|-------|-----------------|-----------|---------|-------------------|---------------|----------------|-------|
| | | 薬局の開業者 | 薬局に勤務するもの | 病院診療所勤務 | 医薬品の製造輸入販売に従事するもの | | | |
| 昭和29年 | 6 370 | 1 313 | 647 | 659 | 1 987 | 241 | 65 | 1 458 |
| 30 | 6 466 | 1 362 | 689 | 719 | 1 977 | 248 | 91 | 1 380 |
| 31 | 6 178 | - | - | - | - | - | - | - |
| 昭和32年 | 5 346 | - | - | - | - | - | - | - |

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第7表 薬局

本表は薬局法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

| 年次 | 総数 | 薬剤師が開設するもの | | 無薬局町村数 |
|-------|-------|------------|-------------|--------|
| | | 薬剤師が開設するもの | 非薬剤師が開設するもの | |
| 昭和29年 | 1 727 | 1 304 | 423 | 55 |
| 30 | 1 927 | 1 577 | 350 | 34 |
| 31 | 2 065 | 1 572 | 493 | 10 |
| 昭和32年 | 2 080 | 1 579 | 501 | 10 |

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第8表 保健婦

本表は保健婦法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

| 年次 | 総数 | 養成所卒業のもの | | |
|-------|-------|----------|---------|-----|
| | | 養成所卒業のもの | 試験合格のもの | その他 |
| 昭和29年 | 1 784 | 840 | 515 | 429 |
| 30 | 1 792 | 846 | 517 | 429 |
| 31 | 1 485 | 769 | 487 | 229 |
| 昭和32年 | 1 489 | 770 | 490 | 229 |

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第9表 看護婦及び看護人

本表は看護婦法及び看護人法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

Table with columns: 年次, 総数, 新制の, 旧制, 看護婦, 看護人, 準看護婦. Rows for years 29, 30, 31, 32.

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第10表 助産婦

本表は助産婦法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

Table with columns: 年次, 総数, 指定学校または講習所卒業, 外国学校卒業, 試験合格によるもの, 従来開業限地開業. Rows for years 29, 30, 31, 32.

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第11表 あんま、はり、きゆう師及び柔道整復師

本表はあんま、はり、きゆう師法及び柔道整復師法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

Table with columns: 年次, あんま師マツサージ, はり師, きゆう師, 柔道整復師. Rows for years 29, 30, 31, 32.

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第12表 栄養士及び調理士

本表は栄養士法及び調理士法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

Table with columns: 年次, 栄養士, 調理士. Rows for years 29, 30, 31, 32.

(注) 資料 大阪府衛生部公衆衛生課。

第13表 病院及び診療所

本表は医療法施行規則第13条に規定する手続きによって提出された報告に基づいて作成されたもので昭和32年にかんする数字である。病院とは医療法第一条に規定される医師または歯科医師が公衆または特定多数人のため医療または歯科医療をなす場所として患者20人以上の収容施設を有するものをいう。診療所とは患者20人以下の収容施設を有するものをいう。

Table with columns: 種類, 病院数, 病床数, 在病者延数, 新入院患者数, 退院患者数, 外来患者延数. Rows for categories like 精神病院, 結核病院, 伝染病院, 一般診療所, 歯科診療所.

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第14表 性病病院診療所

本表は医師法施行規則第13条に規定する手続きによって提出された報告に基づいて作成されたもので昭和32年末現在の数字である。

Table with columns: 都道府県立, 市立, 町村立. Rows for 施設数, 許可病床数, 診療所.

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第15表 性病患者数

本表の患者数は「伝染病週報」によったものである。伝染病週報とは伝染病予防法及び伝染病届出規則に基づく医師の届出により作成されたもので各年末の数字である。

Table with columns: 年次, 総数, 梅毒, りん病, 軟性下かん, そけいりんば肉芽しゆ症. Rows for years 29, 30, 31, 32.

(注) 資料 大阪府衛生部予防課。

第 16 表

法定伝染病月別患者数及び死亡者数

本表の患者数は「伝染病調査統計」により死亡者数は「人口動態調査」によるものである。本表の患者数は真性のものである。死亡者数には疑似をも含む。法定伝染病予防法に基づいて

Table with columns for Year, Month, Total Patients, Total Deaths, Cholera (Amoebic/Bacterial), and Typhoid. Rows include昭和29年, 30年, 31年, 昭和32年, and months 1 through 12.

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第 17 表

届出伝染病、食中毒月別患者数及び死亡者数

本表の患者数は「伝染病調査統計」により死亡者数は「人口動態調査」によるものである。届出伝染病届出規則に基づいている。

Table with columns for Year, Month, Total Patients, Total Deaths, Malaria, Measles, Diphtheria, Influenza, Acute Encephalomyelitis. Rows include昭和29年, 30年, 31年, 昭和32年, and months 1 through 12.

(注) 資料 大阪府衛生部予防課。

者数及び死亡者数

本表の患者数は「伝染病調査統計」により死亡者数は「人口動態調査」によるものである。本表の患者数は真性のものである。死亡者数には疑似をも含む。法定伝染病予防法に基づいて

Table with columns for Typhoid, Paratyphoid, Shigellosis, Dysentery, Meningitis, and Japanese Encephalitis. Rows include patient and death counts for each category.

患者数及び死亡者数

本表の患者数は「伝染病調査統計」により死亡者数は「人口動態調査」によるものである。届出伝染病届出規則に基づいている。

Table with columns for Typhoid, Paratyphoid, Shigellosis, Respiratory Tuberculosis, Other Tuberculosis, and Food Poisoning. Rows include patient and death counts for each category.

第 18 表

月 別 主 要 死 因

本表は「人口動態調査」によるものである。

別 死 亡 者 数

死因は国際死因分類に基づいている。

| 死 因 | 昭和 32 年 数 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 |
|---|---------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 總 数 | 35 624 | 4 178 | 3 113 | 3 403 | 2 865 |
| 呼吸器系の結核 その他結核 | 2 715 304 158 | 304 35 23 | 232 28 16 | 226 28 13 | 208 36 9 |
| 梅毒及びチフス | 9 | - | 2 | 5 | 1 |
| 赤痢 | 84 | 7 | 4 | 3 | 4 |
| よう紅熱及び連鎖球菌性口炎 | 5 | - | 2 | 1 | 1 |
| ジフテリ | 32 | 5 | 4 | 6 | 9 |
| 百日咳 | 19 | 1 | 2 | 0 | 4 |
| 髄膜炎 | 8 | 1 | 1 | 1 | - |
| 急性性 | 7 | 2 | 1 | 2 | 1 |
| 麻疹 | 186 | 1 | 13 | 37 | 59 |
| 伝染性及び穿生性とのし 分悪類されたその他疾 良性及び性質不詳の生 | 153 4 744 293 | 4 387 27 | 16 348 19 | 11 379 33 | 15 327 20 |
| 糖尿病 | 123 | 11 | 11 | 12 | 9 |
| 貧血 | 80 | 9 | 5 | 5 | 6 |
| 中枢神経系の血管損傷 | 5 100 | 547 | 474 | 528 | 437 |
| 髄膜炎 | 101 | 7 | 9 | 8 | 13 |
| リウマチ性心臓疾患 | 30 | 4 | 2 | 2 | 3 |
| 慢性リウマチ性心臓疾患 | 121 | 17 | 11 | 9 | 15 |
| 動脈硬化性及び変性心臓疾患 | 2 090 | 241 | 194 | 211 | 166 |
| その他の心臓疾患 | 850 | 135 | 87 | 121 | 80 |
| 心臓疾患に伴う高血圧症 | 148 | 20 | 12 | 15 | 13 |
| 心臓の記載のない高血圧症 | 396 | 44 | 14 | 31 | 47 |
| 肺炎(新生児肺炎を除く) | 358 | 44 | - | 7 | - |
| 肺 | 1 907 | 374 | 205 | 203 | 149 |
| 気管支炎 | 333 | 57 | 35 | 34 | 33 |
| 胃及び十二指腸の潰瘍 | 640 | 80 | 56 | 57 | 52 |
| 虫垂炎 | 52 | 5 | 3 | 3 | 4 |
| 腸閉塞及びヘルニア | 232 | 24 | 15 | 27 | 22 |
| 胃炎 | 931 | 90 | 66 | 88 | 59 |
| 十二指腸及び大腸炎 | 518 | 43 | 39 | 55 | 45 |
| 肝臓炎及びネフローゼ | 949 | 138 | 93 | 115 | 86 |
| 前立腺肥大症 | 14 | 1 | 6 | - | - |
| 妊娠分娩及び産褥の合併症 | 160 | 20 | 11 | 13 | 13 |
| 先天奇胎 | 181 | 23 | 19 | 21 | 20 |
| 出生時の損傷 | 97 | 8 | 7 | 6 | 8 |
| 新生児の感 | 247 | 38 | 38 | 33 | 15 |
| その他の新生児固有の疾患 | 922 | 116 | 102 | 120 | 62 |
| 精神病の記載のない老衰並びに診断名不相当及び不明の原因 | 4 409 | 664 | 407 | 425 | 333 |
| その他のすべての疾患 | 2 732 | 360 | 270 | 246 | 217 |
| 自動車事故 | 574 | 46 | 49 | 50 | 51 |
| その他の不慮の事 | 1 187 | 102 | 93 | 99 | 107 |
| 自殺及び自傷 | 1 332 | 106 | 86 | 107 | 101 |
| 他殺及び戦争行為 | 93 | 7 | 6 | 7 | 5 |

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

| 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2 682 | 3 031 | 2 461 | 2 470 | 2 444 | 2 652 | 2 944 | 3 381 |
| 183 | 247 | 218 | 190 | 179 | 208 | 237 | 283 |
| 38 | 29 | 20 | 19 | 23 | 19 | 11 | 18 |
| 8 | 13 | 10 | 13 | 11 | 12 | 16 | 14 |
| - | - | - | - | 1 | - | - | - |
| 3 | 2 | 11 | 23 | 16 | 3 | 6 | 2 |
| - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| 2 | - | - | - | - | 1 | 3 | 2 |
| 1 | 1 | 3 | 3 | - | 2 | 1 | 1 |
| 3 | 1 | 1 | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| 40 | 21 | 10 | 3 | - | 2 | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - |
| 12 | 8 | 13 | 18 | 21 | 7 | 11 | 17 |
| 387 | 408 | 388 | 435 | 427 | 415 | 450 | 393 |
| 28 | 20 | 25 | 28 | 25 | 22 | 21 | 25 |
| 9 | 13 | 8 | 6 | 9 | 11 | 14 | 10 |
| 4 | 11 | 7 | 7 | 4 | 4 | 8 | 11 |
| 413 | 378 | 326 | 311 | 384 | 408 | 416 | 478 |
| 12 | 7 | 13 | 2 | 6 | 7 | 10 | 7 |
| 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| 4 | 7 | 7 | 5 | 9 | 9 | 11 | 17 |
| 183 | 204 | 147 | 126 | 113 | 150 | 165 | 190 |
| 46 | 69 | 49 | 35 | 33 | 45 | 72 | 78 |
| 12 | 12 | 7 | 9 | 9 | 15 | 14 | 10 |
| 33 | 38 | 27 | 27 | 36 | 26 | 37 | 36 |
| 2 | 115 | 19 | 4 | 1 | 1 | 62 | 103 |
| 120 | 188 | 80 | 61 | 63 | 78 | 154 | 232 |
| 18 | 29 | 7 | 10 | 20 | 23 | 29 | 38 |
| 56 | 57 | 35 | 31 | 51 | 43 | 48 | 74 |
| 7 | 3 | 2 | 9 | - | 5 | 5 | 6 |
| 13 | 11 | 15 | 18 | 23 | 20 | 18 | 26 |
| 78 | 55 | 75 | 104 | 86 | 71 | 68 | 91 |
| 33 | 46 | 35 | 29 | 57 | 49 | 48 | 39 |
| 76 | 80 | 49 | 43 | 51 | 67 | 63 | 88 |
| 1 | 1 | - | - | - | 1 | 1 | 3 |
| 11 | 11 | 11 | 16 | 12 | 8 | 14 | 20 |
| 6 | 13 | 13 | 12 | 13 | 12 | 10 | 19 |
| 7 | 9 | 15 | 7 | 4 | 10 | 6 | 10 |
| 14 | 6 | 11 | 7 | 12 | 14 | 18 | 41 |
| 53 | 52 | 57 | 54 | 55 | 85 | 83 | 83 |
| 316 | 345 | 266 | 308 | 273 | 329 | 358 | 385 |
| 193 | 231 | 197 | 199 | 173 | 186 | 224 | 236 |
| 46 | 37 | 49 | 41 | 38 | 58 | 37 | 72 |
| 85 | 99 | 109 | 145 | 93 | 83 | 59 | 113 |
| 113 | 144 | 114 | 104 | 103 | 135 | 122 | 97 |
| 10 | 7 | 11 | 6 | 8 | 6 | 12 | 8 |

第 19 表 年 齡 別、月 別 死 亡 者 数

本表は「人口動態調査」によるものである。昭和28年は人口動態統計年報の確定数で昭和29、30、31、32年は概数である。

| 年 月 | 総 数 | 0~4歳 | 5~9歳 | 10~14歳 | 15~19歳 | 20~24歳 | 25~29歳 | 30~34歳 | 35~39歳 | 40~44歳 | 45~49歳 | 50~54歳 | 55~59歳 | 60歳以上 | 年令不詳 |
|-------|--------|-------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|
| 昭和29年 | 31 432 | 4 250 | 652 | 275 | 690 | 1 225 | 1 183 | 1 014 | 966 | 1 258 | 1 573 | 2 113 | 2 476 | 13 745 | 12 |
| 30 | 30 821 | 3 700 | 623 | 264 | 544 | 1 098 | 1 101 | 881 | 858 | 1 195 | 1 643 | 2 034 | 2 372 | 14 491 | 17 |
| 31 | 33 387 | 3 455 | 567 | 269 | 609 | 1 151 | 1 054 | 935 | 939 | 1 249 | 1 670 | 2 180 | 2 724 | 16 578 | 7 |
| 昭和32年 | 35 667 | 3 512 | 547 | 275 | 642 | 1 163 | 1 152 | 1 084 | 936 | 1 242 | 1 734 | 2 199 | 3 036 | 18 135 | 10 |
| 1月 | 4 178 | 474 | 47 | 25 | 51 | 115 | 100 | 96 | 97 | 120 | 198 | 217 | 290 | 2 348 | - |
| 2 | 3 152 | 372 | 51 | 20 | 53 | 87 | 97 | 78 | 73 | 106 | 128 | 201 | 268 | 1 617 | 1 |
| 3 | 3 403 | 417 | 46 | 32 | 45 | 112 | 85 | 104 | 78 | 132 | 153 | 203 | 312 | 1 682 | 2 |
| 4 | 2 864 | 321 | 47 | 18 | 52 | 91 | 95 | 79 | 82 | 98 | 137 | 190 | 228 | 1 425 | 1 |
| 5 | 2 692 | 258 | 46 | 14 | 47 | 100 | 83 | 80 | 75 | 99 | 158 | 188 | 255 | 1 289 | - |
| 6 | 3 030 | 240 | 43 | 23 | 71 | 119 | 102 | 106 | 101 | 120 | 135 | 186 | 265 | 1 519 | - |
| 7 | 2 456 | 217 | 38 | 27 | 48 | 88 | 100 | 93 | 61 | 96 | 122 | 172 | 213 | 1 179 | 2 |
| 8 | 2 471 | 184 | 76 | 39 | 68 | 74 | 96 | 76 | 65 | 100 | 135 | 158 | 202 | 1 197 | 1 |
| 9 | 2 444 | 174 | 44 | 14 | 54 | 85 | 89 | 82 | 56 | 87 | 140 | 160 | 220 | 1 238 | 1 |
| 10 | 2 652 | 225 | 36 | 18 | 43 | 85 | 100 | 74 | 83 | 85 | 138 | 169 | 236 | 1 360 | - |
| 11 | 2 944 | 255 | 31 | 21 | 52 | 95 | 86 | 111 | 74 | 100 | 128 | 167 | 264 | 1 559 | 1 |
| 12 | 3 381 | 375 | 42 | 24 | 58 | 112 | 119 | 105 | 91 | 99 | 162 | 188 | 283 | 1 722 | 1 |

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第 24 章
司 法 及 び 警 察

第 20 表 人 体 寄 生 虫 卵 保 有 者 数

本表は各保健所運営報告によるもので各年中の数字である。

| 年 次 | 検 査 人 員 | 虫 卵 保 有 者 | | 虫卵の種類 (1人で数種の虫卵を保有する場合はそれぞれ計上した。) | | |
|----------|---------|-----------|------|-----------------------------------|-------|----------------|
| | | 虫卵を認めたもの | 百分比 | 回 | 虫 | 鞭 虫 12 指 腸 虫 |
| 昭 和 29 年 | 232 217 | 75 576 | 32.5 | 58 162 | 7 855 | 5 142 |
| 30 | 124 307 | 31 142 | 25.1 | 23 831 | 5 162 | 2 910 |
| 31 | 138 641 | 28 102 | 20.2 | 16 705 | 5 656 | 2 983 |
| 昭 和 32 年 | 267 456 | 34 953 | 13.0 | 23 091 | 7 264 | 3 862 |

(注) 資料 大阪府衛生部予防課。